

BUSINESS REPORT 2022

第66期 年次報告書

2021.4.1~2022.3.31



株式会社田中化学研究所

株主の皆様へ

平素より格別のご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

当社の第66期決算期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業の概況及び決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

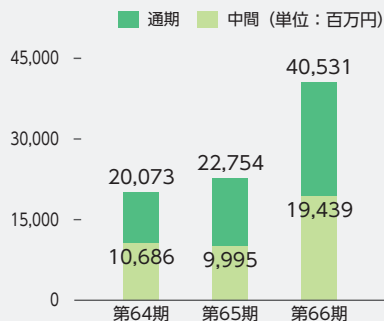


株式会社田中化学研究所
代表取締役 社長執行役員

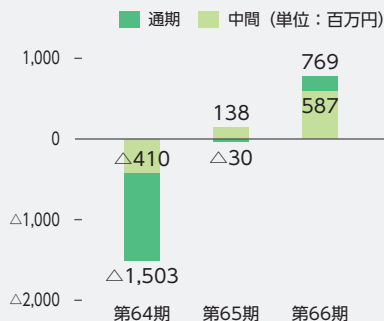
横川 和史

財務ハイライト

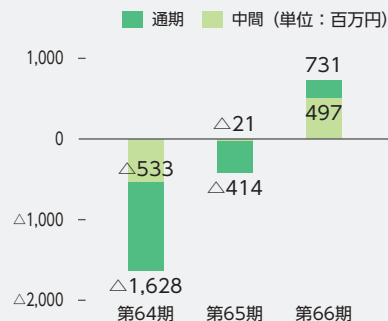
売上高



経常利益



当期純利益



事業の概況

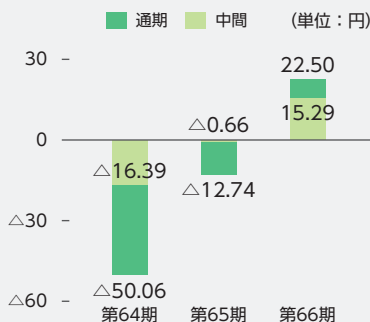
当事業年度における二次電池業界は、世界各地で急速に強まっている温室効果ガス削減の動きに各国の補助金政策の後押しもあり、EV市場は急拡大しております。そんな中、大手電池メーカーが積極的な増産投資の一方、自動車メーカーの内製化志向の強まりや異業種の参入など業界全体のサプライチェーン変革の動きが活発化しております。また、EVの市場拡大が続く中、電池の資源材料は需要の拡大や今後の供給懸念もあり高騰する動きをみせております。

このような市場環境の中、当社といたしましては、数年かけてインフラや組織人員含め増産対応の生産体制整備を進めてきており、現事業所で計画していた設備投資はほぼ完了しております。今後、顧客の需要増加時期に応じて順次生産稼働させるべく準備しております。

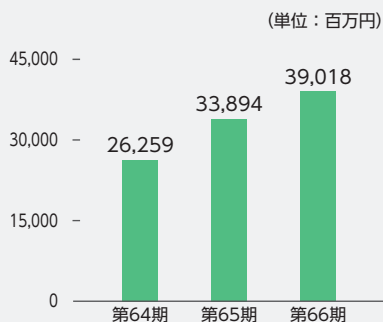
足もとの業績をみると、販売面において車載用途は前年後半より新型コロナウイルス感染症の影響からの需要回復と市場伸長に伴い、総じて増加基調で推移したものの、半導体不足による自動車の生産調整の影響もあり、まだ本格的な回復には至っておりません。また、第3四半期後半から期末にかけては中国向け一部顧客からの受注が急減しており、今後の需要動向においても不透明な状況となっております。コスト面では新規設備稼働や人員増加に伴い、減価償却費や労務費を中心に増加し、採算面においては未だ非常に脆弱な状況であります。

このような状況下において、当社製品の主原料であるニッケル及びコバルトの国際相場が、世界的な電池需要の拡大や今後の供給懸念、足もとの地政学リスクも加わりニッケルが急騰するなど、いずれも上昇基調で推移したことから、それらが反映される

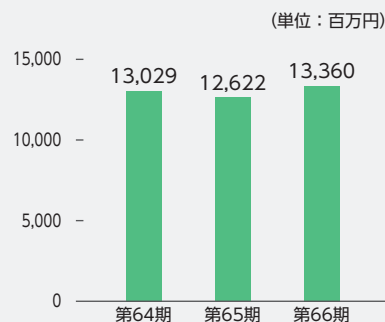
1株当たり当期純利益



総資産



純資産



売上高が増加し、利益で大幅な増益要因となっております。

以上の結果、売上高40,531百万円（前事業年度比78.1%増）、営業利益825百万円（前事業年度は営業損失20百万円）、経常利益769百万円（前事業年度は経常損失30百万円）、当期純利益は731百万円（前事業年度は当期純損失414百万円）となりました。

主要な製品用途別の販売数量の概況は以下のとおりです。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

【リチウムイオン電池向け製品】

前事業年度比で48.1%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりです。

- ・ 車載用途は、新型コロナウイルス感染症の影響からの需要回復と市場伸長に伴い、総じて増加基調で推移したものの、半導体不足による自動車の生産調整の影響もあり、まだ本格的な回復には至っておりません。また、第3四半期後半から期末にかけては中国向け一部顧客からの受注が急減しております。結果、前事業年度比で80.7%の増加となりました。
- ・ 民生用途は、最終製品の需要減少により前事業年度比で16.5%の減少となりました。

【ニッケル水素電池向け製品】

前事業年度比で17.4%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりです。

- ・ 車載用途は、前事業年度に新型コロナウイルス感染症の影響によるHV需要の減少を背景に主要顧客からの受注が減少しましたが、足もとにおいては一定の需要が回復し、新規顧客への量産納入も開始したことから、前事業年度比で22.4%の増加となりました。
- ・ 民生用途は、市場縮小から数量自体が少量ですが、前事業年度比で93.2%の減少となりました。

ご参考

	(ニッケル国際相場：円換算)				(単位：円/kg)
	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均	
2022年3月期	1,917	2,126	2,274	3,069	
2021年3月期	1,324	1,525	1,681	1,883	

	(コバルト国際相場：円換算)				(単位：円/kg)
	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均	
2022年3月期	5,128	6,014	7,535	9,264	
2021年3月期	3,659	3,527	3,663	5,096	

※ニッケル LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均
コバルト LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

私たちは「正極材料メーカー」です。

主要製品である正極材料は、リチウムイオン電池やニッケル水素電池などの「高性能二次電池」に使用されています。当社の開発した正極材料を使った製品が街中にあふれ、現代社会のあらゆる場所で活躍しているのです。

当社の主力製品



三元系正極材料



ニッケル系正極材料



水酸化ニッケル



水酸化ニッケル
(コバルトコート品)

より良い電池を生み出すために、当社の社員は日進月歩で進化する高性能な正極材料の開発・製造に挑んでいます。

二次電池

リチウムイオン電池

ニッケル水素電池

二次電池とは？
充電することで電気を蓄え、繰り返し使用できる電池のことです。

最終製品イメージ



タブレットPC・ノートパソコン・
電気自動車・電動工具など



ハイブリッドカー・
乾電池型二次電池など

暮らしに欠かせないスマートフォンを毎日のように充電して使えるのは、二次電池があるから。
ノートパソコンや電気自動車も二次電池が原動力になっています。

私たちは**先進テクノロジーを支える存在**です。

テクノロジーの進化に伴い、当社が開発した正極材料を使った製品はますます街中にあふれていきます。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期 (2021年3月31日)	当期 (2022年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	12,960,913	17,950,589
現金及び預金	2,529,752	1,303,833
受取手形及び売掛金	4,538,248	8,602,228
電子記録債権	267,554	194,778
商品及び製品	1,206,124	2,501,943
仕掛品	1,840,752	2,179,492
原材料及び貯蔵品	1,565,780	2,701,823
その他	1,012,699	466,489
固定資産	20,933,782	21,067,491
有形固定資産	20,744,697	20,862,977
無形固定資産	6,068	6,450
投資その他の資産	183,016	198,063
その他	183,316	198,363
貸倒引当金	△ 300	△ 300
資産合計	33,894,696	39,018,081

科目	前期 (2021年3月31日)	当期 (2022年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	8,837,267	14,727,042
支払手形及び買掛金	3,806,915	7,665,856
1年内返済予定の長期借入金	1,500,000	1,500,000
未払法人税等	344,419	48,559
賞与引当金	103,527	187,199
その他	3,082,404	3,025,427
固定負債	12,434,908	10,930,889
長期借入金	12,300,000	10,800,000
その他	134,908	130,889
負債合計	21,272,176	25,657,931
(純資産の部)		
株主資本	12,603,834	13,335,666
資本金	9,155,228	9,155,228
資本剰余金	6,662,707	6,662,707
利益剰余金	△ 3,211,994	△ 2,480,163
自己株式	△ 2,106	△ 2,106
評価・換算差額等	18,685	24,483
その他有価証券評価差額金	18,685	24,483
純資産合計	12,622,520	13,360,149
負債純資産合計	33,894,696	39,018,081

損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前 期	当 期
	(自2020年4月1日 至2021年3月31日)	(自2021年4月1日 至2022年3月31日)
売上高	22,754,316	40,531,316
売上原価	20,895,031	37,531,658
売上総利益	1,859,284	2,999,657
販売費及び一般管理費	1,879,972	2,174,562
営業利益又は営業損失(△)	△ 20,687	825,094
営業外収益	52,548	33,221
営業外費用	62,451	89,255
経常利益又は経常損失(△)	△ 30,590	769,061
特別利益	80,808	203,590
特別損失	88,088	163,039
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	△ 37,870	809,611
法人税、住民税及び事業税	282,709	84,173
法人税等調整額	93,784	△ 6,393
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 414,364	731,831

役員 の 状 況

(2022年6月24日現在)

代表取締役 社長執行役員	横 川 和 史	
取 締 役	久 野 和 雄	
取 締 役	小 坂 伊知郎	
取 締 役	田 中 浩	
取 締 役 (監査等委員)	大 嶋 哲 夫	
取 締 役 (監査等委員)	増 田 仁 視	
取 締 役 (監査等委員)	井 上 毅	
常務執行役員	山 崎 龍 太	(総務人事、購買物流、情報開示担当)
常務執行役員	嶋 川 守	(製造、製造管理、設備、品質管理 担当 兼 品質管理部長)
執 行 役 員	田 中 学	(営業、原料、IR担当)
執 行 役 員	中 根 堅 次	(研究開発、製造技術、品質保証担当)
執 行 役 員	小 林 芳 彰	(企画、経理担当 兼 企画部長 兼 経理部長)

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前 期	当 期
	(自2020年4月1日 至2021年3月31日)	(自2021年4月1日 至2022年3月31日)
I 営業活動による キャッシュ・フロー	△ 90,142	145,867
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 7,768,354	△ 2,201,869
III 財務活動による キャッシュ・フロー	8,687,155	794,300
IV 現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 13,162	35,782
V 現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	815,496	△ 1,225,919
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	1,714,256	2,529,752
VII 現金及び現金同等物の 期末残高	2,529,752	1,303,833

株 式 の 状 況

(2022年3月31日現在)

- ①発行可能株式総数 普通株式 47,000,000株
- ②発行済株式の総数 普通株式 32,533,000株
- ③株 主 数 16,073名
- ④大株主の状況 (上位10名)

株 主 名	持株数 (株)	持株比率 (%)
住友化学株式会社	16,407,200	50.43
田中 保	1,264,200	3.89
株式会社三菱UFJ銀行	460,000	1.41
田中 浩	300,000	0.92
株式会社福井銀行	300,000	0.92
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	229,200	0.70
INTERACTIVE BROKERS LLC	221,100	0.68
BBH FOR GLOBAL X AUTONOMOUS +ELECTRIC VEHICLES ETF	220,376	0.68
住友生命保険相互会社	210,000	0.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	173,800	0.53

(注) 持株比率は自己株式(1,119株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel：0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所（スタンダード市場）
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.tanaka-chem.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告いたします。)

会社概要

商号	株式会社田中化学研究所
設立	1957年12月
資本金	9,155,228千円
主な事業内容	二次電池用正極材料の製造販売
従業員数	337名
住所	〒910-3131 福井県福井市白方町45-5-10
電話番号	0776-85-1801（代）
ホームページ	https://www.tanaka-chem.co.jp



最新の当社IR情報等
ご覧いただけます。

(2022年3月31日現在)

お知らせ

株券電子化によるご注意

- (1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。